



身近な地域の居場所 常設サロンに行ってみよう！

高齢障がい支援課 ☎(45)6289

人
との小さな関わりが
元気をくれる

高齢化の進む日本。大府市も例外ではなく、将来的には、4人に1人が高齢者となると想定されています。年齢を重ねても、元気に楽しく過ごしたい。これは誰でも当たり前に持つ望みです。体を動かしたり、趣味を見つけて過ごすことで、心も体も健康でいられることができます。

しかし、遠くまで出掛けることへの不安や、これといった趣味がないといった方もたくさんいます。そんな場合はどうすれば良いのでしょうか？

健康づくりの鍵になるのは、「誰かと関わりを持つこと」。自宅からちよつと出掛けて気軽にお茶を飲むことができる場所があれば、行ってみようかという気になりませんか？

今、全国的にも地域の中で気軽に訪れることのできる居場所が求められています。多くは「ふれあい・いきいきサロン」・「常設型サロン」といった名称で全国的に展開されています。これらのサロンは、身近な場所にあるごらんまりとした空間で、ボランティアの方が運営をしています。食事や趣味の活動などを一緒に行うことで気の置けない仲間を作ったり、多世代で交流をしたりなど、人と人とを結ぶふれあいの場となっています。

▶週に4日以上開いている常設サロン

常設サロンとは？

常設サロンは、週に4日以上開設している地域住民の居場所であり、誰もが気軽に立ち寄ることができます。

食事やお茶をしながら交流をしたり、趣味の活動に参加したりすることができ、子どもや高齢者などの枠を超えて地域住民がつながることができます。

市内には、現在7カ所の常設サロンが活動しており、地域住民の活動の拠点となっています。

▶特徴

- ・週4回、4時間以上開所
- ・利用者3人、支援者3人以上
- ・参加希望者は、自由に参加可能！

▶活動内容 食事・喫茶、趣味の活動(小物づくり・絵手紙・レクリエーション)、講座・講習(ヨガ・シルバー寺子屋)、作品展示、販売(ミニギャラリー)など

▶その他 市では、常設サロンの設置・運営を支援しており、活動費の補助や運営の助言を行っています(P9参照)。



「ふれあいの居場所みどり」で、ボランティアをしている皆さん

▶常設サロンではこんないいことが!?

●ご近所とのつながりができます！

⇒新しい出会いやご近所とのつながりができ、子どもから高齢者まで、世代を超えて仲間づくりができます。

●閉じこもり予防、介護予防につながります！

⇒外出する機会が増えることにより、閉じこもり防止や介護予防につながり、1人暮らし高齢者や高齢者世帯などの安否確認にもつながります。

●趣味が増え、生きがいを発見できます！

⇒さまざまな趣味やサークルなどの活動を通して、楽しみや生きがいを発見できます。

●住んでいる地域のことがよく分かります！

⇒さまざまな方と会話したり、交流することで、情報交換の場となり、住んでいる地域のことがよく分かるようになります。

スマイルおおぶ

身近な地域の居場所常設サロンに行ってみよう！

▶番組放送

6月1日(土)～14日(金)

8:45～/14:45～/20:45～

▶メディアチャンネル
デジタル12チャンネル

番組も
チェック！



市では、平成20年度から高齢者だけでなく、地域住民が気軽に集うことのできる居場所を充実させようと「常設サロン」の支援を開始しました。
今回の特集では、市内にある「常設サロン」の中でも、「ふれあいの居場所みどり」に焦点を当て、常設サロンで活躍する方や常設サロンの内容・魅力を紹介いたします。

市内に7カ所！ 常設サロン

—元気にいきいきとした生活を—

大きな家族をつくりたい。

子どもからお年寄りまで気軽に行くことができる常設サロン。
常設サロンを舞台に活躍し、笑顔が素敵で、皆さんから慕われている一人の代表者を紹介します。



現

在、江端町で常設サロンふれあいの居場所みどり(以下『みどり』)を運営する久保田久代さん。毎週平日に『みどり』で、食事の提供の手伝いや会話を楽しんでいきます。「毎日出合いがあり、うれしいことばかりです」と語る久保田さん。その言葉が深く伝わってくるように、常設サロンに来てくれる皆さんも久保田さんを慕い、楽しそうな雰囲気になっています。

亡き母がつないだつながり

久保田さんに、常設サロン立ち上げの経緯を聞くと「常滑市に住んでいた



『ふれあいの居場所みどり』代表者
久保田久代さん

母が61歳で他界し、悲しんでいた中、『母の友達と一緒に食事がしたい』と思い、母の実家で食事を開催したところ、39人も人が集まりました。これがかっかけになり、毎月平日に母の実家で皆さんの居場所となるご飯付きの常設サロンを始めました」と当時を振り返りながら話します。母親の実家での常設サロンも続けながら、平成22年10月に『みどり』をオープン。今では、母親の実家の常設サロンは退き、大府に専念することを決められました。「母の実家でたまたま始めた小さな居場所が、年月が経つごとに大きな居場所になり、多くの方が来てく

れるようになりました」と笑顔で話します。

優しさをつなぎ大きな家族に

「いろいろな方の支えがあり、今の自分があります」と話す久保田さん。常設サロンでさまざまな人たちと知り合い、1対1で話し、お互いにつながることで、日々幸せを感じています。

そして、久保田さんは、サロンを訪れる皆さんの優しさを原動力にして、交流の場を運営しています。久保田さんは『みどり』に来てくれるみんなが大事な家族。みんなの居場所で、大きな家族を作っていきたいです」と夢を語ります。大きな家族になることで、助け合いが生まれているのです。

ふれあいが延ばす健康寿命

久保田さんは健康で活力にあふれ、訪れる皆さんもいきいきとしています。「みんなと交流することで、自然と健康でいられます。居場所は健康寿命を延ばします。若い方との新たな出会いも待っています」と常設サロンでの触れ合いが健康の一助になっていると語ります。久保田さんの生きがいとなっている常設サロン。皆さんの幸せを願い今日も久保田さんは、新たな出会いを待っています。



ボランティアスタッフに支えられている常設サロン。『みどり』で、ある時は講師、ある時は食事の提供の手伝いをしている一人のボランティアスタッフを紹介します。

ボランティアスタッフ

熊谷典子さん



▲熊谷さんから着物のリメイクを学ぶ受講者。着物が生まれ変わっていきます。



【右】着物リメイク教室では、会話も楽しみながら制作 【中央上】食事を楽しむ皆さん 【中央下】ボランティアスタッフが腕によりをかけておいしい料理 【左上】1食550円のランチ。この価格でこのボリューム



ボ

ランティアスタッフとして、10年以上支え続ける熊谷典子さん。月2回水曜日に、

着物リメイク教室の講師を務め、金曜日には食事の提供の手伝いを行っています。「私ができることで、こんなに喜んでくれる方がいてくれることがうれしく、やりがいにつながっています」と熊谷さんは話します。

教わったことを仕事に

熊谷さんにボランティアスタッフになろうと思ったきっかけを聞くと「パートで洋裁をしていた頃、その技術を生かしたいと思うようになりまして。そんな矢先、市の広報紙に居場所

スタッフの募集記事があり、すぐに申し込みました。洋裁を教えていただいた素敵な先生との出会いがここまで発展して、驚いています」と熊谷さんは、笑顔で当時を振り返ります。

ともに過ごす温かい時間を

「ボランティアスタッフ一同、和気あいあいとした楽しい雰囲気を作っています。ゆっくり食事をして、たくさん交流していきたいです」と話します。

熊谷さんは自分の経験を生かし、仲間と楽しく過ごされています。皆さんの経験も常設サロンで生かせるかもしれません。ぜひ一歩踏み出してみませんか。

参加者ひとこと

杉江真由美さん(写真右)

常設サロンを月に2回利用しています。着なくなった着物を利用できないかと思っていたところ、リメイク教室を常設サロンで行っていることを知りました！ 温かい雰囲気があり、とても居心地がいいです。

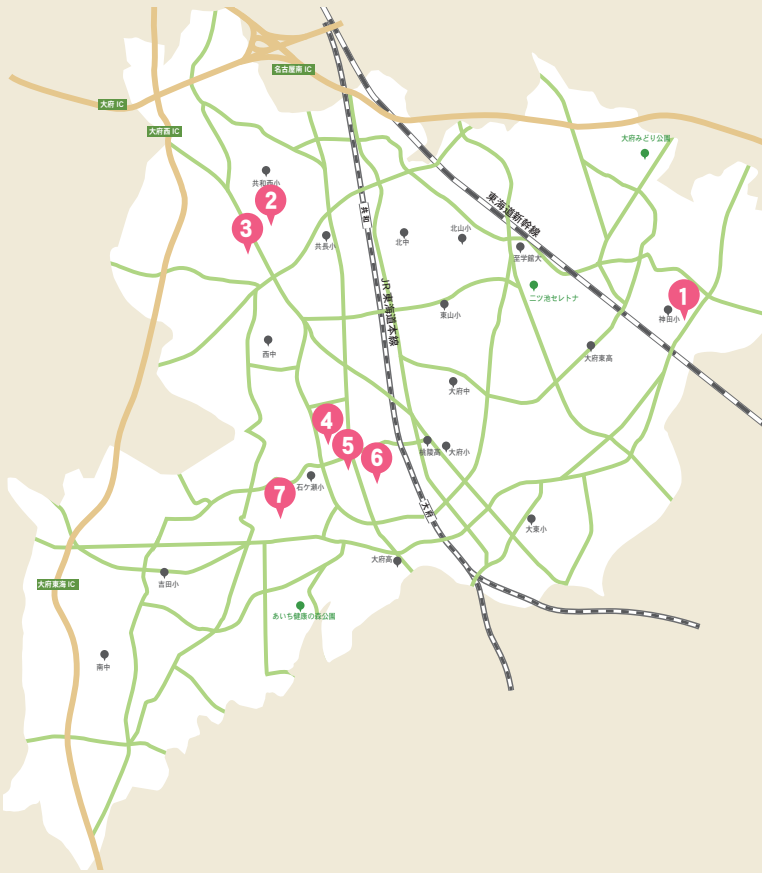
鈴木きぬ代さん(写真左)

常設サロンは敷居が低く、誰でも来ることができます。初めて会った方と友達になれ、おいしい料理も楽しみにしています。



週に4日は開いています！ 市内にある常設サロン

市内の常設サロンマップ



1 サロンだんだん



- ▶ 代表者 北平光
- ▶ 日時 月～回 9:00～12:00
(休館日は休み)
- ▶ 住所 神田町6-388-1
(神田っ子プラザ内)
- ▶ 料金 喫茶代

☎(46)0567

2 ひなたぼっこ



- ▶ 代表者 生熊輝明
- ▶ 日時 月～金 9:00～16:00
- ▶ 住所 共西町6-168
- ▶ 料金 食事・喫茶代

4 あつまり処 わのや



- ▶ 代表者 大西小百合
- ▶ 日時(週によって変更あり)
火・土 9:00～13:00
水・木・金 13:00～17:00
- ▶ 住所 柗山町5-298
- ▶ 料金 無料(講座参加費別)

☎090(6070)2924

3 ふれあいの居場所長草横丁



- ▶ 代表者 久保田久代
- ▶ 日時 月～金 9:00～15:00
- ▶ 住所 長草町ドント19
- ▶ 料金 食事・喫茶代

☎(47)7800

常設サロンの開設補助制度

常設サロンの初期活動費の補助制度があります。常設サロン開設に興味がある方は、高齢障がい支援課へご相談ください。

▼対象団体

3人以上の市民で組織する団体または法人で、規約などが定められ、収支の経理が明確で、政治団体・宗教団体でないこと

▼補助対象事業

次の全てを満たす団体
週に4日以上開催し、1日当たりの開催時間がおおむね4時間以上であること

- 地域内の集会場、公共施設、個人宅、空き家、空き部屋、空き店舗などで継続して開催すること

- 1日におおむね3人以上の高齢者(市内在住)の参加が見込まれること
- 補助金を申請する年度に活動を開始していること
- スタッフが1人以上常駐すること

- 営利を目的とした活動、特定の趣味活動のみを目的とした活動でないこと

▼補助対象経費

新規開設に要する経費のうち、建物などの修繕料、備品購入費、消耗品費、補助対象サロンの会場の賃貸借契約に係る礼金その他補助対象サロンの開設に必要と認められる費用

▼補助率

補助対象経費の4分の3以内(上限30万円)

▶ふれあいサロンもあります！

ふれあいサロンとは？

市社会福祉協議会が運営を支援する、高齢者が集い、楽しく交流することができる緩やかな居場所です。触れ合いや会話を通して、健康づくり、生きがいくくり、仲間づくりを楽しんでいます。

▶特徴

- ・月1回以上開所
- ・利用者3人、支援者3人以上
- ・参加希望者は、自由に参加可能！

▶活動内容 茶話会、運動(健康体操・介護予防体操・脳トレ)、趣味の活動(絵手紙・囲碁など)、スポーツ(グラウンドゴルフ・卓球など)、音楽(合唱・コーラスなど)、地域行事への参加など

▶その他 常設サロン同様に、ふれあいサロンの新規開設にも市の補助制度や市社会福祉協議会による運営に対する補助制度があります。詳細は、高齢障がい支援課および市社会福祉協議会(☎(48)1805)にお問い合わせください。

常設サロンとの違いは何？

- ① 開催している回数がサロンによって異なります。
- ② 市内に118カ所開設されています。

広報おおぶ1日号で、新シリーズ

会って話して **健康長寿**

あなたのまちのふれあいサロン

始まります！

今号からシリーズ企画として、市内のふれあいサロンで活躍する市民の方を紹介します。皆さんの笑顔を届けます。34ページをご覧ください！



広報担当者
樋口

常設サロンは、人と人が出会い、交流し、相談し合うことができる『もう一つの家族』です。そして、それがあなたの居場所です。

今回の取材では、皆さんの活気あふれる姿に圧倒されました。このパワーは、きっと日々の出会いから生まれる幸せなのだと感じました。

また、常設サロンでのつながりが、住み慣れた地域で、一人で孤独にならず、安心して暮らせるまちをもたらすものと実感しました。

老若男女問わず、ぜひ、一度お近くの常設サロンに足を運んでみてはいかがでしょうか。

きっと、あなたにも新しい出会い・発見が、そこには待っています。

取材を終えて

サロンは
もう一つの家族

▼その他 設置補助以外にも、運営に対する補助があります。詳細は、高齢障がい支援課にお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

開催中はいつでも、お立ち寄りください！

5 幸齢ゆめハウス



- ▶代表者 近藤守彦
- ▶日時 月～金 9:30～16:00
- ▶住所 江端町4-1
- ▶料金 食事・喫茶代

☎(48)1806

6 ふれあいの居場所みどり



- ▶代表者 久保田久代
- ▶日時 月～金 9:00～15:00
- ▶住所 江端町3-85
- ▶料金 食事・喫茶代

☎(44)3232

7 こもれび



- ▶代表者 矢澤久子
- ▶日時 月～土 11:00～15:00
- ▶住所 森岡町2-28
- ▶料金 食事・喫茶代

☎090(6396)5971